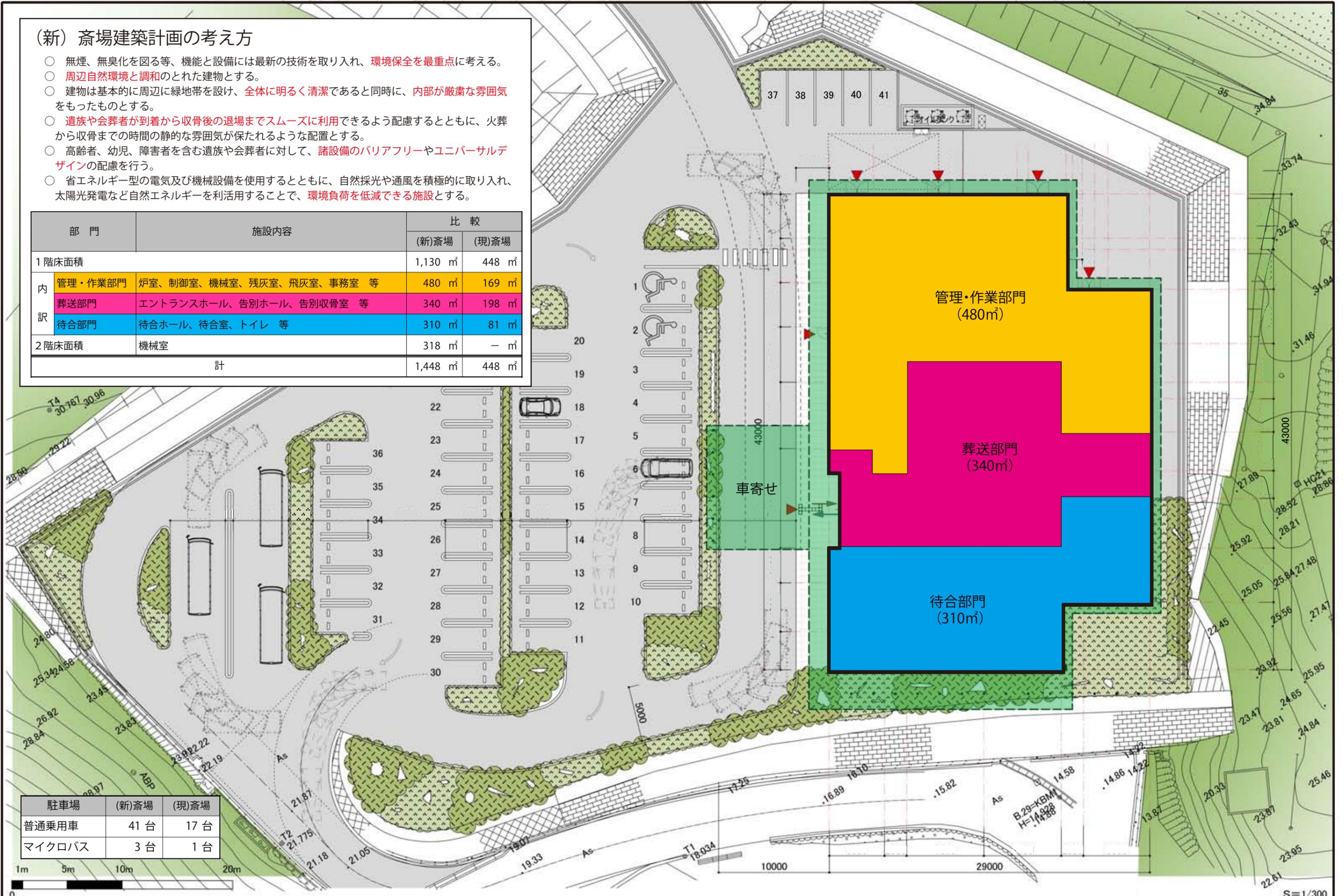


(新) 斎場建築計画の考え方

- 無煙、無臭化を図る等、機能と設備には最新の技術を取り入れ、**環境保全を最重点**に考える。
- **周辺自然環境と調和**のとれた建物とする。
- 建物は基本的に周辺に緑地帯を設け、**全体に明るく清潔**であると同時に、**内部が厳粛な雰囲気**をもったものとする。
- **遺族や会葬者が到着から収骨後の退場までスムーズ**に利用できるように配慮するとともに、火葬から収骨までの時間の静かな雰囲気が保たれるような配置とする。
- 高齢者、幼児、障害者を含む遺族や会葬者に対して、**諸設備のバリアフリーやユニバーサルデザインの配慮**を行う。
- 省エネルギー型の電気及び機械設備を使用するとともに、自然採光や通風を積極的に取り入れ、太陽光発電など自然エネルギーを利活用することで、**環境負荷を低減できる施設**とする。

部門	施設内容	比較	
		(新)斎場	(現)斎場
1階床面積		1,130 m ²	448 m ²
内訳	管理・作業部門	480 m ²	169 m ²
	葬送部門	340 m ²	198 m ²
	待合部門	310 m ²	81 m ²
2階床面積	機械室	318 m ²	- m ²
計		1,448 m ²	448 m ²



駐車場	(新)斎場	(現)斎場
普通乗用車	41台	17台
マイクロバス	3台	1台

